

第 1752 回例会報告

令和4年8月25日(木)小雨

会長告知

ロータリー財団地区補助金と 2600地区青少年育成助成金

について
会長 萩田 均

先日、関東、静岡において火球の目撃情報が相次ぎ、テレビにも沢山の監視カメラやドライブレコーダーの画像が流れました。やはりペルセウス座流星群は火球の出現率が高い流星だと思いました。諏訪地域では夜、あまり良い晴れにならず、星が見えにくい日が続いていますが、夜8時ころから明るい星が東より上がってきます。これは土星です。リングの有名な星ですが、2025年にはリングが見えなくなる時があります。土星のリングが傾いていること、公転周期が約30年のため、15年に1回起きる現象です。

8月8日、オリビア・ニュートン・ジョンが73歳で亡



くなった報道がありました。私にとっては大好きな歌手なのでショックでした。私もいずれ、訪れる死

ですが、それまでの間にできる限り家族に、社会に地域に、そして次世代に良いことを残していきたいと感じた次第です。

ここでロータリー財団地区補助金が480, 216円、振り込まれてきました。通年はこの半分くらいの

補助金です。この額になったのは3年前の西澤年度においてのロータリー財団年次寄付の額が、多かったのでその約25%が各クラブの申請した奉仕事業に補助される制度です。この申請は前年度3月15日までに申請した事業に対する補助事業です。ちなみに申請事業名は諏訪湖浄化運動において新たな取り組みについて申請してあります。事業の終了は2月、報告書の提出は3月15日までにしなくてはなりません。

2600地区にはもう一つ、青少年育成基金によるプロジェクト助成金があります。本年度は約6000万円(地区予算書による)と他原資により、通年であればその利息を使い、申請の各クラブに10万円以下の助成を行っていました。前年度に地区の規則を変更して、その原資から500万円取り崩して、補助金額を20万円になっています。また、通年ですと1月申請、6月報告書提出のところ、本年度は経過処置として、9月申請受付、5月報告書提出となっています。次年度はロータリー財団地区補助金と同じ申請、報告書に移行予定です。青少年育成基金を集めたのは、地区が愛知と一緒に地区から、独立した2600地区になったころ、多くの先輩、企業からの努力により約2億円(正確な数字ではありません)その利息により青少年に恒久的に助成することを目的に設立されたものと聞いています。現在、青少年奉仕委員会とどういった事業に充当するかを検討しています。ロータリー財団地区補助金も青少年育成助成金も同等事業に3年以上実施してはいけないという規定があることを考慮していかなくてはなりません。有効に使用して奉仕事業を行っていきます。

◇幹事報告◇

【報告事項】

1) 地区大会についてのお知らせが来ました。国際ロータリー2600 地区 2022-2023 年度地区大会

2022.11.6(日) 信州の幸 あんずホール(更埴文化会館)となっております。

後日パンフレットをお送りしますが、例年10人以上が参加しています。暫定登録理事役員を登録しますが勧誘しますのでお願いいたします

2)岡谷市より、諏訪湖読本贈呈のお礼が届きました

【受領文書】

- 1)コーディネーターニュースが届きました。希望
- 2)の方は事務局までお問い合わせください
全国ロータリー囲碁大会の通知が届きました。希望の方は事務局までお問い合わせください
- 3)信州豊かな環境づくり県民会議会報「たまき」第101号が届きました。希望の方は事務局までお問い合わせください



第 1752 回例会

臨時総会・2021-2022 年度決算報告

担当 会長・幹事

2021-2022 年度決算報告が河西会計から行われ、蒲地監査の監査報告に続き採決が行われ採決されました

なおその際「交際費」が予算より多いことに関する質問に対する答えが間違っていましたので河西会計より訂正文が届きましたので記載します

「交際費が予算を大きく上回ったのは、例年一人程度で推移してきた会員の親に関する慶弔規定に該当する人が本年は4名いたため約5万円×4名で20万円を超えてしまいました。説明が不適切だったことをお詫び申し上げます」

決算内容は FAX でもお送りしましたが、ホームページ(suwakorc@suwakorc.net)にも記載してありますのでご覧ください



諏訪湖ロータリー

便り

花だよりが届きましたのでほんの一部記載します
小林聖仁会員



渡辺芳紀会員

